

帝國キネマ芦屋映畫

原作者  
脚色者  
監督者  
撮影者  
主要役割

松屋春翠氏  
伊東淳兆氏  
松本英一氏  
大森英一氏  
大森勝氏

矢澤修造  
上山お時  
友人岡村文雄  
カフエーの女  
カフエーの女  
解説  
次に監督完成した映畫で、大阪の流行眼  
『籠の鳥』の哀調を松屋春翠氏が新様式  
解説——。松本英一氏が「淀の草笛」の  
歌川八重子娘  
里見蘭子娘  
松本泰輔氏  
伊東淳兆氏  
尾崎靜子娘  
見明氏娘  
伊東淳兆氏  
大森英一氏  
大森勝氏

妻矢澤修造  
娘お光  
友人岡村お光  
カフエーの女  
カフエーの女  
な以て原作に採つたものである。  
喀筋——。矢澤屋の娘お糸には親の選んだ許婚  
として此家子飼の番頭豊助さいふ男があつた。  
併し或夏の一日家族中で海岸に遊びに行つた時  
溺れやうとする豊助を救つて呉れた大學生上山  
文雄の男々しさに接して以来全く上山に心を奪  
はれて終つた。自我に眼ざめた彼女も、舊式な  
家庭の撫に背き難く、豊助の希望もあり愈々秋  
にもまきつて愛着心に堪へられ文雄はその日  
お糸を式場から逃さんとしたが家族の者に妨げ  
られて果し得ず、悲しみの餘りお糸は哀れ此世  
の吉日に結婚式があげられる事となつた。お糸  
の頃大阪の巷には、幸少かりしお糸の死を悼  
むが如く「籠の鳥」の悲調が哀愁の情を唆りつ  
る頃大阪の巷には、文雄の親友岡村はせめて失恋に泣く  
友を慰むべくカフエー等に誘つたのである。泣く  
逢ひたさ見たさに恐さも忘れ  
暗い夜道をたゞ一人  
……。